

令和8年度 第77回 中国地方技術研究会

開 催 要 領

令和8年4月

国 土 交 通 省

中 国 地 方 整 備 局

I. 開催概要

1. 目的、趣旨

中国地方整備局中国地方技術研究会は、中国地方整備局及び県等の所掌する建設技術に関する調査・研究・開発の成果発表、建設技術に関する創意工夫及び行政事務に関する創意工夫の提案等を行なうことにより、建設技術の向上と普及また行政事務の効率化を図ることを目的とする。

2. 日程

- ・第1日目：令和8年8月19日（水） 13：00～18：00
- ・第2日目：令和8年8月20日（木） 9：30～16：00
（予備日 令和8年9月 2日（水）、3日（木））

開催日を延期する場合は、令和8年8月17日（月）までにメールで連絡する。

3. 開催地

- ①中国地方整備局（広島合同庁舎内会議室等）
各部門の発表会場（現地）については後日決定し通知する。
- ②発表会場＋オンライン(Microsoft Teams) ハイブリッド開催

4. 参加範囲

技術研究会に参加できる者は次に掲げるものとする。

- ①国土交通省 中国地方整備局職員
 - ②地方公共団体（中国5県2市）の職員
 - ③広島高速道路公社、本州四国連絡高速道路(株)、西日本高速道路(株)中国支社及び日本下水道事業団の職員
 - ④中国5県土木施工管理技士会の会員等
 - ⑤中国地方の大学等の学生
 - ⑥その他関係者
- ・ 自由課題の発表者は、発表及び閉会式へは現地参加を原則とする。ただし、やむを得ない事情により閉会式へ現地参加ができない場合は、代理を立てるものとする。
 - ・ 発表会場に参加する者は、発表組織関係者および問題意識と参加意欲のある者とし、発表者等への質疑応答に積極的に参加するものとする。
 - ・ オンラインで参加する者は、必ずマイクとカメラはオフで参加とすること。なお、質疑を行う場合は、Teamsの挙手機能を使用し、会場の司会からの指名を待つこと。司会から指名された場合、マイクとカメラをオンにして質疑を行うこと。

5. 研究課題等について

令和8年度技術研究会の研究課題等は以下のとおりとする。

- ①自由課題
 - ②指定課題
- ・ 研究課題等の募集や発表等についての概要は、『Ⅱ. 課題募集概要』のとおりとする。
 - ・ 当日のプログラムについては、後日、研究会事務局より連絡する。

6. 審査及び表彰

自由課題は審査を行い、表彰式での表彰と本省で実施する国土交通省国土技術研究会の自由課題に推薦する。

(1) 審査員

審査員は、中国地方整備局各部の課長以上、及び中国地方整備局各事務所長の中から選定する。なお、審査委員長は、中国地方整備局技術企画官とする。

(2) 審査項目

審査項目として、研究開発内容・研究開発理解度・研究開発手作り度・プレゼンテーション能力等を総合的に審査し、特に優秀と認められる論文については、審査会において審査し優秀賞等として表彰する。

(3) 表彰

2日目の全発表終了後、閉会式において優秀賞等の選定結果について報告及び表彰する。

(4) 国土技術研究会への推薦

本省で実施する国土交通省国土技術研究会に推薦する課題は、審査結果を踏まえ事務局において選考し、該当者には別途通知する。

①推薦対象者は「4. 参加範囲」の①～③とし、各部門から1課題を推薦する。

②国土技術研究会の開催日等については、事務局より連絡する。

③国土技術研究会の発表者は、別途開催予定の「国土技術研究会 現場勉強会」に参加することができる。なお、開催日等は研究会事務局より連絡する。

7. 問合せ先

事務局 中国地方整備局 企画部 企画課 課長補佐 守川 倫
技術指導係長 小倉 義章

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30

TEL : 082-221-9231 (代表)

FAX : 082-511-6359

E-mail : morikawa-o87dd@mlit.go.jp (守川)

ogura-y87ak@mlit.go.jp (小倉)

Ⅱ. 課題募集概要

1. 自由課題について

自由課題の発表者は以下の組織からの推薦とする。

- ①国土交通省中国地方整備局の各部、各事務所等
- ②地方公共団体（中国5県2市）
- ③広島高速道路公社、本州四国連絡高速道路(株)、西日本高速道路(株)中国支社、日本下水道事業団
- ④中国5県土木施工管理技士会の会員等
- ⑤中国地方の大学等

※中国技術研究会以外の、各団体内部の技術発表会や土木学会等で発表済みの課題であっても推薦は可能です。

※中国8大学と中国地方整備局との包括協定に基づく研究成果等、積極的な推薦をお願いします。

（1）課題内容

自由課題の課題内容は次の5部門に示す研究テーマ（別紙ー1）より選定する。

なお、自由課題の選定にあたっては各職場、各研究室等の内部で検討会を実施する等の措置を講ずること。特に事務所内で部門の偏りが生じないように留意すること。

①イノベーション部門

社会資本の整備にあたり、建設コストの縮減、安全・安心の確保、環境保全、維持管理・更新等の諸課題の解決に資する、建設生産性向上、国土・地球観測基盤情報、インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)に関するシステム開発、施策的取組、制度等のイノベーションに資する技術や取組（建設マネジメント等に関する取り組みを含む）について研究発表を行う。ただし、新技術部門に関するものを除く。

※建設生産性向上とは、例えば、入札・契約における試行的取組（現場条件にあった技術提案とその評価方法等、技術開発・工事一体型調達方式での発注等）、新技術活用システムを活用した取り組み（NETIS 登録技術においてフィールド提供型等で工事を行った事例等）、監督・検査の合理化（工事書類の簡素化、施工管理の効率化等）等をいう。

②アカウンタビリティ部門

社会資本の新設・改良の効果（ストック効果）に関する広報、社会資本の維持管理や災害対応に関する広報、住民等との合意形成等について、単なる取組事例の報告ではなく、国土交通行政と国民の「生活」との距離をいかにして詰めていくかという視点から研究発表を行う。

③安全・安心部門

「中国ブロックにおける社会資本整備重点計画（令和3年8月）」に基づく、「防災・減災が主流となる社会の実現」「持続可能なインフラメンテナンス」に関連する取組について研究発表を行う。

④活力部門

「中国ブロックにおける社会資本整備重点計画（令和3年8月）」に基づく、「持続可

能で暮らしやすい地域社会の実現」「経済の好循環を支える基盤整備」に関連する取組について研究発表を行う。

⑤新技術部門

社会資本の整備にあたり、建設コストの縮減、安全・安心の確保、環境保全、維持管理・更新等の諸課題の解決に資する、官・民間等で開発された設計・施工等に関する優れた技術を公共事業において活用された事例、新技術活用システムを活用した事例（NETIS 登録技術においてフィールド提供型等で工事を行った事例等）、インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション（DX）に関する個別箇所・現場での適用事例について研究発表を行う。

・各部門の発表課題数の目安については、会場等の都合により以下のとおりとする。

①イノベーション部門	18 課題程度
②アカウンタビリティ部門	10 課題程度
③安全・安心部門	18 課題程度
④活力部門	10 課題程度
⑤新技術部門	18 課題程度

（２）発表方法

- ①発表は研究担当者（代表者のみ）が行うものとし、課題ごとに研究責任者を定め、研究責任者も同席するものとする。なお、質疑の対応は原則として研究担当者が行うこととするが、高度な質疑等で研究担当者が答弁できないものについては、研究責任者が支援し、質の高い討議を行うものとする。
- ②発表時間は、1 課題につき準備 1 分、発表時間 12 分、質疑応答 7 分の合計 20 分を原則とする（準備 1 分には発表者の入替時間を含む）。ただし、発表課題数が多い場合、発表時間の見直しを行うものとし、研究会事務局より連絡する。
- ③発表開始から 10 分経過でベルを 1 回、12 分経過でベルを 2 回、15 分経過でベルを 3 回鳴らして発表時間を伝える。なお、ベルが 3 回鳴ったら（発表 15 分）必ず終了すること。なお、発表時間が見直しになった場合、改めて研究会事務局より連絡する。
- ④発表資料は Microsoft PowerPoint で作成することを原則とし、スライドサイズは標準（4：3）とする。
- ⑤発表資料内に動画等の埋め込み、質疑に対する補足資料の追加は可とする。
- ⑥会場に準備されたプレゼン用パソコンの操作は発表者側で行うこととする。

（３）提出物

①課題の概要

提出物：様式－１

提出期限：令和 8 年 5 月 22 日（金）

提出方法：Microsoft Excel データを電子メールで提出すること。

提出担当：推薦する組織が①～③については、中国地方技術研究会担当者が所属組織発表分をとりまとめ提出すること。その他の組織については発表者自ら提出する。

②論文原稿

提出物：論文（別添１ 論文作成要領に従い作成すること）

※提出された論文は、原則、中国地方整備局のＨＰに掲載する。

提出期限：令和８年７月１５日（水）（厳守）

提出方法：発表者自らがＰＤＦデータを電子メールで提出すること。

※ファイル名は『【所属_発表者名】課題名.pdf』とする。

例：鳥取河川国道事務所 鳥取太郎 課題名〇〇〇

【鳥取_鳥取太郎】〇〇〇.pdf

例：広島市役所×××課 広島二郎 課題名□□□

【広島市_広島二郎】□□□.pdf

例：(株)△△ 中国二郎 課題名▽▽▽

【△△_中国二郎】▽▽▽.pdf

※課題概要提出時から課題名を変更した場合は、その旨申し出ること。

③発表資料

提出物：発表資料（Microsoft Power point 2016 にて動作確認を行うこと）

※ファイル名は『【所属_発表者名】課題名.pptx』とする。

※プレゼン資料は１ファイル（容量は 50 MB 以下を標準）とする。

※ファイル内に、質疑応答を円滑にするために必要な資料を追加しても良い。

提出期限：令和８年７月３０日（木）（厳守）

提出方法：発表者自らが電子メールで提出すること。

※ファイル名は『【所属_発表者名】課題名.pptx』とする。

例：鳥取河川国道事務所 鳥取太郎 課題名〇〇〇

【鳥取_鳥取太郎】〇〇〇.pptx

例：広島市役所×××課 広島二郎 課題名□□□

【広島市_広島二郎】□□□.pptx

例：(株)△△ 中国二郎 課題名▽▽▽

【△△_中国二郎】▽▽▽.pptx

※電子メールで提出できない場合、事務局まで電子メールで報告すること。後日、研究会事務局から行政情報基盤システム『大容量ファイルサービス』の利用案内の電子メールを送付する。

※中国地方整備局職員は、行政情報基盤システム『大容量ファイルサービス』を利用すること。

（４）注意事項

①各提出物の提出期限は厳守のこと。

②提出期限以降の提出（変更含む）は、特別な理由がない限り認めないものとする。

③内部選考会及び決裁の日程については提出期限を考慮すること。

④推薦する組織が①～③については、発表課題がない場合も「課題の概要」を提出すること。

⑤提出された論文は、事前に中国地方整備局のＨＰに掲載する。ただし、論文に情報公開法において定められている不開示事由が含まれる場合、発表者は研究会事務局へ事前に申出があれば不掲載とする。なお、行政文書開示請求等があった場合に開示され

る可能性がありますので予め御了承願います。

⑥発表資料は、事前にプレゼン用パソコンに保存してあるので、発表前に確認を行うこと。

⑦発表資料に動画を埋め込む場合は、必ず自分以外のパソコンでも動作することを確認後送付すること。（リンク先の確認）